

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22016	事業名	浸水対策事業			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	03:上下水道の充実			款	08:土木費
		施策の方向	02:生活排水対策の推進			項	04:都市計画費
	重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト		目		04:都市下水路費	
事業期間	R 4 年度 ~ R 7 年度	主な根拠法令等		-			

評価分類	B1
------	----

担当部署	
部	建設部
課	土木課 河川流域G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	本市では浸水被害の軽減に向け、浸水被害が発生した実績のある区域を対象に浸水対策計画を策定している。ゲリラ豪雨の多発化や台風の巨大化等により、浸水被害のリスクが年々増加する中、計画的に浸水対策を進めていく必要がある。	浸水実績のある区域	浸水被害が発生した実績のある区域の浸水対策を推進し、浸水被害の軽減を図る。	近年、浸水被害が発生した実績のある区域の浸水被害を軽減するため、水路改修等の対策を検討するとともに、内水浸水想定区域図を作成する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
事業計画		○基本設計	○詳細設計	○浸水対策検討のための資料収集	○浸水対策基礎調査 ○内水浸水想定区域図作成				
活動実績 (計画通り実施できたか)		令和2年度策定の浸水対策計画に基づき、短期対策が必要な東御幸地区において基本設計を行った。浸水対策計画の精査及び現地調査を実施し、浸水対策案を3つ提案し、そのうち、短期路線の浸水悪化する可能性が低減でき、現実的に整備できる可能性が高い案の選定を行った。	令和4年度実施の東御幸地区における基本設計に基づき、幹線路線となる区間の関係機関との協議を行うとともに雨水管路詳細設計を行った。また、東御幸地区対策工事に必要な概算事業費の検討を行った。	過年度実施の調査資料等を総合的に検討した。 また、事業計画(社会資本整備計画)を策定し、国庫補助事業として採択を受けた。					
③ 事業の実施状況 (P・D)	計画額	事業費	10,000千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円	0千円	36,200千円	
		国・県支出金		0千円				0千円	18,100千円
		地方債		0千円				0千円	16,000千円
		その他		0千円				0千円	
		一般財源	10,000千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円	0千円	2,100千円	
決算額	事業費		9,552千円		9,686千円		0千円		
	国・県支出金		0千円		0千円		0千円		
	地方債		0千円		0千円		0千円		
	その他		0千円		0千円		0千円		
	一般財源		9,552千円		9,686千円		0千円		
①期間内計画額(R4-7)			56,200千円	②期間外計画額(R8-)		0千円	①+②総計画額	56,200千円	

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	0千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
④ 指標 (C)	浸水対策事業実施件数率	各年度末の事業実施件数率(事業実施件数/期間内の事業実施総件数)	成果	%	計画値	20	40	40	100
					実績値	20	40	40	
					計画値				
					実績値				

判定	評価理由
A	資料収集、詳細検討を進め、令和7年度実施予定の浸水対策基礎調査及び内水浸水想定区域図作成の準備を完了することができた。 また、事業計画(社会資本整備計画)を策定し、国庫補助事業として採択を受けたことにより、予定どおり次年度以降の一般財源の削減を図ることができた。
計画どおり進んでいる	

事業の対象	事業の目的
浸水実績のある区域	浸水被害が発生した実績のある区域の浸水対策を推進し、浸水被害の軽減を図る。

(再掲)

事業の進捗度合を踏まえた課題事項
⑥ 課題 (C)
浸水対策の水路改修に当たり、国庫補助事業の採択を受けられるよう、事業認可、整備計画の策定など、必要な手続きを遅滞なく進めていく必要がある。

方向性	
⑦ 事業の展開 (A)	
継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する	
改善・見直し内容	
令和7年度で対応する(した)もの 住民等と平時から内水浸水リスクに関する情報提供を行うことで、リスクの低減や有事への対応の向上に繋げるため、内水浸水想定区域図を作成する。	令和8年度以降で対応するもの 浸水対策の水路改修に当たり、国庫補助事業の採択を受けられるよう、事業認可、雨水管理総合計画、社会資本整備計画等の計画策定と、国、県との十分な協議による円滑な手続きを実施し、事業期間の短縮、事業費の軽減等を図る。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
進捗度合		A	A	
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	

【履歴】

1次評価者	建設部 土木課 河川流域GL 黒田康史
最終評価者	建設部 土木課長 水越 洋光